

みんなの 広場

よみがえった太戸の滝 明石 匡弘 (太戸)

太戸の滝は以前から隠れた景観地区としてそれなりに有名なところでした。最近では SNS などでも取り上げられ知名度もアップし観光スポットとして人気もかなりでてきたように思います。私も大変気に入っており散歩コースに入っております。規模はそれ程大きくはありませんが滝の水流、溪流のせせらぎ、本当に見る者の心を



和ませてくれます。その見事な滝が台風により一変することになりました。周辺の樹々が強風によって広くなぎ倒され見るも無残な姿になってしまいました。倒木が溪流に横たわり水流を阻み、大きく景観を損なうことになりました。太戸の滝を守る会のメンバーもこの状況を憂い、なんとかしなければならぬという思いに駆られていました。この度、守る会メンバーの働きかけにより、チェーンソーを携えた名手の方々が清掃活動に参加され、強力な応援部隊になっていただきました。倒木の解体処理も大いにはかどり撤去作業も順調に進みました。ほぼ以前と同じ姿を取り戻したように思います。

今年は降雨も多く滝の水流も増えており見映えがより一層良くなっています。一見の価値はあると思いますので皆様も訪れてみてはいかがでしょうか。

馬活でファイト！ 深津 裕子 (寿)

こんにちは。昨年より牟佐の一員、新入りの深津です。
 自閉症 + 知的障がいの息子「類」と二人暮らし。類は 15 歳から乗馬をしています。馴染み薄い乗馬ですが、実は自閉症の療育にはホースセラピーとして有効な特性があります。馬と親しみ、心を許し、人馬一体で心身の健やかを促すスポーツ・乗馬！セラピーから始まり、今は健常者と競い合う大会選手へ成長しました。牟佐公園をお借りしてコース復習を繰り返し、3 月には馬場馬術で好成績優勝を果たしました。焦ると左右もコースも混乱する知的さんですが、目標は更に大きな大会で高得点優勝すること！穏やかで程よくスローな牟佐の地で一杯充電し、更なる挑戦を続けたい！です！



牧石ふれあい祭り 松本 康彦 (西条)



4月21日春雨の中、老若男女が牧石小学校で開催された「第32回野菜の里 牧石ふれあいまつり」へ足を運んでいた。屋外では即売や雑貨等の催しが広がり、行き交う人々の足を止めては一時の語らいが見受けられた。

体育館では、牟佐町内会によるイノシシの革製品の販売と手づくりを出店。制作者の不慣れなコテを使っての作業を見るに、緊張と楽しさのハーモニーを醸しだしていた。時として刻印を打つ木槌の音は、合いの手の如く場内にこだました。



苦心惨憺のすえに出来上がったストラップを手に、手づくりの喜びを感じながら席を離れていく姿を見て、私は少しでもレザークラフトの良さを感じ取って頂ければ嬉しい限りと思った。

舞台では、男女混声コーラスやピアノ連弾等が行われた。奏者達が織りなす音色は会場内を包み、川のせせらぎの如く穏やかに、時には渡り鳥が群れを成して飛び立つ様に激しく、この祭りを鮮やかに彩り、訪れた人たちの心に残る最良な一日になる事を思う次第です。